

令和2年度第1回幕別町創生総合戦略審議会議事録

1 開催日時

令和2年7月13日（月）18:30～19:20

2 開催場所

幕別町役場3階会議室A・B

3 出席委員（15名）

森委員、中田委員、藤原委員、加藤茂樹委員、原田委員、佐々木委員、宮田委員、高道委員、
山本委員、喜多委員、飯塚委員、久門委員、細谷地委員、堀川委員、森田委員

※大槻委員、仙北谷委員、加藤リエ委員、大山委員、堀委員は欠席

4 審議

（1）幕別町の人口動態について

（2）幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

（3）令和2年度地方創生推進事業について

5 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山岸 伸雄
〃 政策推進課長	白坂 博司
〃 政策推進課副主幹	佐々木 哲也
〃 政策推進課副主幹	鳴海 走也
〃 政策推進課副主幹	小寺 博志

6 傍聴者

1名

7 議事録

(政策推進課長)

定刻となりましたので、ただいまより、令和2年度第1回幕別町創生総合戦略審議会を開会いたします。

開催に先立ちまして、人事異動及び関係機関との役員改選に伴いまして、新たに2名の委員を委嘱しましたことからここにご紹介させていただきます。

まずは町内の公共的団体及び関係機関の役員または職員の区分になりますが、社会教育委員会委員長が前任の岩谷史人様から原田啓二様へ変更となっております。

(原田啓二委員より挨拶の言葉)

次に識見を有する者の区分で、十勝総合振興局地域創生部長が前任の鳥井慎一様から久門修様へ変更となっております。

(久門修委員より挨拶の言葉)

本日、大槻委員、仙北谷委員、加藤リエ委員、堀委員、大山委員から欠席の連絡がありましたので、ご報告いたします。

続きまして、事前にお配りしております資料の確認ですが、資料1から資料3まで用意しておりますが、皆様お手元にありますでしょうか。

(全委員より資料に不備がないことを確認)

それでは、ここからは藤原会長から、議事の進行をお願いいたします。

(藤原会長)

未だに新型コロナウイルスが収束に至っておりませんが、皆様方におかれましてはコロナに負けないように健康に十分気をつけていただきたい。

それでは、議案に入らせていただきたいと思います。

議案第1号、「幕別町の人口動態の概要」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料1「令和元年度幕別町の人口動態の概要」をご覧くださいませでしょうか。

令和元年度末の総人口は1の「直近10年間の年度末人口」の一番下の欄に記載しているとおり、26,505人となっております。昨年度と比較すると211人減少しており、平成27年度からは毎年200人以上減少している状況です。

出生者数と死亡者数の増減である自然増減は、171人減と過去10年で一番大きい減少数です。

また、転入者数と転出者数の増減である社会増減は39人減と、平成27年以降から減少幅は徐々に小さくなっています。

続いて、2の「人口ビジョンの推計値と実際の人口数との比較」の欄をご覧ください。

(1)の地区別で見るといずれの地区も当初推計した人口とほぼ同じ人数で推移しているが、(2)の年齢別で見ると、65歳以上の老年人口は推計よりも増えている一方、0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口とも推計値を下回っており、少子高齢化が想定以上に進行している状況がみられます。

続いて裏面をご覧ください。

3は高齢化率の状況を示したものです。令和元年度末時点での町の高齢化率は32.6%と前年度の32%を上回っており、年々高齢化率が増加傾向にあります。

地区別では幕別市街地と幕別札内農村地域がともに40%を超えている状況です。

4の「自然動態」は、先程1の「直近10年間の年度末人口」にて説明した内容を地区別に整理したものです。いずれの地区でも自然減となっています。

また、一人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子どもの数の平均を示す合計特殊出生率は、昨年度の1.41と比較し減少となりました。20歳から24歳、25歳から29歳、30歳から34歳の各出生率が昨年度より下回りました。

最後に5の「社会動態」は転入元と転出先を主な住所別及び年齢ごとに整理したものです。

社会減の傾向は昨年度と大きく変わらず、札幌市への転出及び15歳～29歳の社会減が多いという特徴があります。一方、昨年度よりも社会減は抑制されている。説明は以上です。

(藤原会長)

ただ今、議案第1号について説明をいただきました。この中でご質問、ご意見などありますでしょうか。

ご質問などないようですので、議案第1号につきましては終了させていただきます。

続きまして、議案第2号「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証」について説明をお願いします。

(事務局)

資料2-1「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間最終年度実績（令和元年度末）」をご覧ください。

令和元年度末時点の幕別町の創生総合戦略における施策目標の達成状況をまとめたものです。令和元年度は第1期の計画期間最終年度となります。

太字が進捗率100%の以上施策目標、薄くなっている文字が目標達成率50%未満の施策目標となっています。

基本目標2の移住・定住、観光施策の分野及び基本目標4のまちづくりの分野では数値目標を達成している施策も多く、効果的に事業が行われていると推察されます。

一方、基本目標1の産業振興や雇用及び基本目標3の結婚・出産・子育ての分野においては、他の基本目標と比較すると達成率が50%未満の施策も複数あり、今後、既存の事業の見直しや新たな事業を打ち出すなど、より効果的かつ即効性のある事業が求められます。

第2期では、上記の第1期の施策の目標達成状況に加え、国の基本目標に向けた取組に関する新たな視点や道の重要施策などを踏まえて、新たな施策を設定するなどして施策目標を基本目標ごとに整理しました。

資料2-2「幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和元年度実績報告書）」は、昨年度、総合戦略を推進するために行った事業の実績と効果検証、また、今年度実施予定の事業などをまとめたものになります。こちらの説明は割愛させていただきます。

最後に、資料2-3「幕別町まち・ひと・しごと総合戦略KPIの検証状況」をご覧ください。こちらは、資料2-1で説明した最終年度実績を、総合戦略開始時から現時点までの推

移をまとめたものです。

2ページをご覧ください。

こちらは、総合戦略で設定している50の施策目標の達成率を、達成率に応じてA～Dに区分したものです。全体で見ると100%以上の目標達成率であるA区分は54.9%、続いて50%以上100%未満のB区分が31.4%と施策目標のうち約9割が達成率50%以上となっています。

また、基本目標ごとにみると、基本目標1の産業振興と雇用の分野で1%以上～50%未満のC及び0%のDの占める割合が全体の約2割と、他の目標と比較し達成率が低い状況です。

説明は以上です。

(藤原会長)

議案第2号について説明をいただきました。ご質問、ご意見などありますでしょうか。

ご質問などないようですので、第2号議案につきましては終了させていただきます。

続きまして、議案第3号「令和2年度地方創生推進事業」について説明をお願いします。

(事務局)

今年度実施する地方創生推進事業をまとめたものです。

資料3のアスリートと創るオリンピックの町創生事業について説明いたします。本事業は、今年度が最終年度の3年目となります。

昨年度は、平成30年度にモニター体験を行った、慶應義塾体育会野球部の合宿を本格的に受け入れるほか、車いすラグビー日本選手権予選会を開催し、障がいスポーツ大会誘致の受入体制の基盤づくりとなりました。

また、現役オリンピックとの交流イベント、また、日本体育大学との連携による部活動・少年団の指導者を対象とした研修会を開催し、オリンピックのまちを標榜する町にとって、大きな実績を残したところです。

さらには、オリンピックの功績などを紹介する展示スペースを設営し、子供たちが将来への夢や希望を抱く機会を与えるとともに、交流人口の拡大や地域のPRを行いました。

今年度は、さらなるオリンピック育成につなげる事業を展開するため、オリンピックとの交流事業などを引き続き行うとともに、日本体育大学と連携したオリンピック輩出要因分析に関する研究や保護者や関係者を対象とした研修会を実施する予定です。

また、オリンピックの町としての基本指針である「スポーツ推進計画」を策定する予定です。

さらには、来年に延期となった東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的とし、ポスターや横断幕の作成、オリンピック・パラリンピックに関連したイベントを実施予定です。

説明は以上です。

(藤原会長)

議案第3号について説明をいただきました。ご質問、ご意見などありますでしょうか。

(久門委員)

事業内容はコロナを想定していないものとなっていると思いますが、事業の見直しなどについて現時点で考えられていることはありますか。特にオリンピックによる学校訪問はどうなりますか。

(事務局)

事業内容については担当課と随時共有していますが、現時点でオリンピックによる学校訪問を中止する予定はないため、開催時期が遅れたとしても年度内に実施予定です。

随時事業の見直しについては、慶應大学野球部の合宿中止に伴い、過去2年の受入実績を評価し、課題の抽出及び解決策を検討することで、更なる受入体制の強化につなげていきます。

また、東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を目的としてパブリックビューイングを開催予定でしたが、来年への延期に伴い、その代替案としてオリンピックまたはパラリンピックによるスポーツ教室の開催を予定しています。

当初の計画より事業の規模や内容が変更となりますので、地方創生推進交付金の変更交付申請を行う予定です。

(藤原会長)

ほかにご質問、ご意見などはありますでしょうか。

(加藤茂樹委員)

スポーツに限らず全般的にコロナで制約を受けているが、リモート会議など、コロナに対応した取組がいろいろな場所で始まっている。今後、5年間の目標を立てて事業を実施していくことになると思うが、コロナの影響があっても事業を中止することはせず、コロナの影響を踏まえた事業内容を検討してもらいたい。

(政策推進課長)

第2期の総合戦略では、今年度から5年間かけて新たな事業展開をしていきますが、その年その年の実績についてはこのような会議の中でご説明させていただきます。その中でご意見をいただいたもので、次年度に反映できるものについては反映していきたいと考えています。

また、コロナにより中止となった事業についてですが、相手方がいて相手方より中止の申し出があった事業については町として了解せざるを得ないですが、それ以外の今後実施予定の事業については担当課と協議しながら事業の展開方法などを検討していきます。

リモート会議についてですが、こういった会議もご自宅にネット環境があれば、ZOOMなどを活用して開催できると思いますし、庁舎内でも札内地区・幕別地区・忠類地区の3地区でテレビ会議ができるシステムの導入など、鋭意コロナ対策として検討しているものをあり、それを活用していきたいと考えておりますので、引き続きご意見をいただければと思います。

(会長)

ネット環境で会議を行うとそれなりの負担と時間がかかります。私の会社でもLINEを活用して会議を2回ほど開催しました。会議は、ネット環境を活用したもの、もしくは今日のように

開催したほうが良いと思います。

イベントは内容を縮小しても実施することが国より推奨されていますが、内容を縮小した分回数を増やすなど、いろいろなことを考えながらこれからはやっていかないとけないと考えています。みんなで工夫してやっていけばできると思っていますので、いろいろな意見をいただければと思います。

ほかにご質問、ご意見などはありますでしょうか。

(原田委員)

コロナ感染症のことで、町としては施設の閉所やイベントの中止といった広報が出ています。私はスマホを持っており、メールで他の町村からは防災の知らせがきましたが、幕別町からはメールがきませんでした。私が入っている町内会には町からコロナに関する紙が届いていましたが、その紙には町長の頑張ろうというメッセージが入っていました。防災無線などを活用して町が何を取り組んでいるのかを町民の方に広報したほうが良いと思います。

(政策推進課長)

現時点では防災行政無線は忠類地域のみ整備されている状況で、今年度中に希望者全戸に対して防災行政無線の個別受信機を配布し、来年度以降にそれを活用していろいろな行政情報を発信する予定です。

現在、町の行政情報の広報手段としては、広報紙を月1回全戸に配布させていただいており、ここ数ヶ月はトップページにコロナの情報を載せて皆さんに周知しております。また、ホームページにはトップ画面に「コロナウイルス関連情報」という一番大きなバナーを設置しております。そこをクリックするといろいろな情報を確認できるようになっています。さらにはそのバナーの下には町内の公共施設の開所状況や定額給付金の情報などを載せています。

最近ですと、Facebookやツイッターでも情報を発信しております。トップにコロナ情報を固定することで検索することなくすぐアクセスできるような環境としておりますが、原田委員が仰ったように、それらの情報発信がなかなか伝わっていない部分はあるかと思しますので、このように情報発信していますということを今後も皆様に周知していきたいと考えています。

(原田委員)

町のホームページを最近見始めて、町の情報を確認できるようになりました。私より上の年代の人は情報を確認することはさらに難しいのではないかと思います。今後、きめ細やかな情報発信できるツールがあれば考えていただきたい。

(会長)

ほかにご質問、ご意見などはありますでしょうか。

(堀川委員)

第1期目の施策目標の達成状況について、我々が行政からの提案に対して意見を出して作った施策目標だったので全体の約5割が未達成となったことは残念でした。第2期目は、コロナ対策を反映しながら、我々の達成感を得られるような、そして、費用対効果を求めたような数

値目標としていただけることで、ちゃんとした議論をしていければなと思います。今後、皆さんで意見を出し合って作り上げた数値目標で町の運営ができればと思っています。

私たち住民ができることってどんなことがあるか、町のイメージがあればお聞かせください。

(政策推進課長)

未達成の施策の中では、制度の周知がうまく浸透しておらず、制度を知らなかった、活用方法がわからなかったというものが少なからずあります。それは町としての情報発信が不足していたためと反省しており、今後どう伝えていくか関係課を含めて模索しているところです。

広報紙にはほとんどの町の制度が載っているの、すぐに皆さんに取り組んでいただけることといえば、広報紙からその情報を見ていただけるかということが大事だと思っています。できるだけ皆さんに見ていただける紙面にしたいと思っていますが、もしよろしければちょっとした時に目を通していただくとありがたいです。お互いやりとりしながら物事を進めていければと思っています。

今、公助・共助・自助といわれていますが、今後、災害やコロナなどが起きたときに自助・共助の部分でできることが多々あると思いますし、また、協働のまちづくりの観点からこういったことについても皆様方で意識を持って取り組んでいけたらと思っています。

(藤原会長)

商工会からスーパープレミアム付商品券が販売されましたが、全販売数の15,000セット(5,000円/セット)のうち、二次募集をかけても約13,000セットしか売れず2,000セットが余った。広報や勝毎さんの記事に載せてもらったりしても、ほぼ全戸に周知できないのが実情で、周知させるのは難しいです。

何を言いたいかというと、町はいろんなことをやっていただいているが、周知させるのは非常に難しいということです。そして、口コミが大事だなと感じました。

他に質問がないようですので、第3号議案につきましては終了させていただきます。

以上で本日の議案については終了させていただきます。

事務局から何かありますでしょうか。

(事務局)

特段なし。

(会長)

今日は本当にありがとうございました。